

# 岡崎市子ども会球技大会申し合わせ事項 (フットベースボールの部) (平成 25 年度)

## 1. チーム編成について

- (1) 選手は小学生女子とし、当年度当初の予選出場チームの所属を変更することはできない。
- (2) 編成は選手 15 名以内、監督 1 名、コーチ 2 名以内とし、総計 18 名以内とする。
- (3) コーチは中学生以上、監督は 20 歳以上の育成者でなければならない。
- (4) チーム編成に不正があったと認められた場合は、そのチームの出場を停止する。  
また、不正が判明し、そのチームが優勝もしくは準優勝していた場合は、その入賞を取り消し、次の順位のチームを繰り上げ入賞とする。

## 2. 出場チームについて

- (1) 各ブロック1チームとし、大会前にメンバー表を本会に提出すること。
- (2) 原則として抽選会後の選手の変更は認めない。
- (3) 大会に出場するチームは、その所属するブロックで優勝もしくは協議のうえ、推薦されたチームとする。

## 3. 試合について

- (1) 試合回数は 7 回とし、50 分を超えて新しいイニングに入らない。
- (2) 4 回以降 10 点以上の得点差が付いた場合はコールドゲームとする。
- (3) 7 回を終了後、同点の場合は延長は行わず、タイブレーカーにより試合継続し、勝負を決定する。
- (4) ただし、50 分を超えたイニング終了時点で同点の場合は、タイブレーカーにより試合継続し、勝負を決定する。  
(岡崎市子ども会でのタイブレーカーとは、無死満塁を設定して試合を継続する方法である。)

## 4. ルールについて

- (1) 塁間は、15.0m、投本間は、7.0mとする。
- (2) リ・エントリー(再出場)制度及び、ダブルベース(補助ベース)は採用する。ただし、指名打者(DH)制度は採用しない。
- (3) 申し合わせ事項以外のその他のルールについては、フットベースボールオフィシャルルールブック(各年度)を準用する。

## 5. 運営について

- (1) ベンチはトーナメント表の若番を一塁側とする。
- (2) ベンチにはメンバー表に登録されていない者は入ってはならない。
- (3) ただし、世話係 2 名は後方に控えることが出来る。(ベンチに入ってはならない)
- (4) 試合開始予定時刻 10 分前までに集合していないチームは、棄権とみなし相手チームの不戦勝とすることがある。

- (5) 打順表(オーダー表)は試合開始前に当該試合の主審に提出する。
- (6) 監督は選手交代・打ち合わせ・抗議等必要な時以外はベンチを離れてはいけない。
- (7) コーチーズボックスには選手以外の者はいれない。
- (8) 審判員に対するヤジは厳重に取り締まり、審判員に対するヤジがあった場合は、それを行ったチームの負けとすることがある。

## 6. 服装および道具について

- (1) 服装はチーム揃いで、子ども会らしいものならよい。  
監督・コーチも運動のできる服装とする。ただし、半ズボン(これに類する物を含む)の場合は、ヒザ下(ふくらはぎが隠れる程度)までのソックスを着用するものとする。
- (2) 靴は、金属の爪の付いたスパイクは禁止する。
- (3) 帽子(サンバイザーを含む)は、揃いのものとし、あごひも付きのものが望ましい。
- (4) 背番号は、背中の見やすい位置に 15 cm 四方程度のものを危険のないように固定する。  
ただし、胸下は付けなくてもよい。
- (5) ボールはフットベースボール専用球(FB-101W)を使用する。ただし、練習における使用ボールについての形状および色についてはこれを規定しない。
- (6) 危険防止のため、試合中の選手は腕時計・ブレスレット・ネックレス・イヤリング・ヘアピン等  
その他、危険と思われるものを着用してはいけない。

## 7. 審判員について

- (1) 主審・塁審とも岡崎フットベースボール委員会に依頼する。

## 8. 応援について

- (1) 子ども会にふさわしい応援とし、鳴り物は使用しない。
- (2) 世話役・選手の親、および関係する応援者はプレー中の選手に対する罵声、怒号やヤジは禁止とし物を投げてはいけない。
- (3) 競技場(フェンス内)への立入は禁止する。

## 9. その他

- (1) 本大会の運営・進行は子ども会の良識を持って対処する。
- (2) ベンチ及び、監督・コーチ用イスは大会運営本部で用意する。
- (3) 練習は多目的広場を使用すること。  
選手の移動、試合時間には十分注意して下さい。
- (4) この申し合わせ事項とオフィシャルルールブックとにおいて相違点がある場合はこの申し合わせ事項を優先する。
- (5) この申し合わせ事項は、学区およびブロック大会にも準用する。  
ただしグラドルールを設定する場合は、大会役員・世話役・チームの監督・  
コーチおよび審判と協議のうえ、採用することができる。